

昭和63年度 新規採択一覧

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
63-1-2)-1	1	1212	利水・発電用ダム等の水質浄化に関する研究	財団法人産業創造研究所		平岩 外四	東京都	湖底層無酸素水の酸素富化を目的とした酸素溶解法について、酸素製造装置及び酸素溶解装置の主要実験を行い、装置の設計諸元を明らかにし、本技術の確立を図る。湖底層無酸素水の酸素富化法及び日光遮断効果を利用した湖水の人工(強制)循環法について調査を行う。また、湖水表層に発生している藻類について遠心濃縮機による濃縮回収法の適用法について検討を行う。
63-1-(4)-1	1	1219	21世紀の河川像に関する調査	財団法人河川環境管理財団	理事長	梶野 康行	東京都	地域の特性に密着した形で河川等の有効活用を図るため、社会の多様化及び高度化に伴う河川等に対する国民のニーズを的確に把握する。全国の地方自治体の首長を対象に、河川・砂防・ダム・海岸等の将来像に関する期待・構想及びそれを実現していく上での問題点、対応策などについてアンケートを実施する。
63-2-I-1	1	2001	「我がまちの水辺の未来の夢」に関する論文募集	財団法人河川環境管理財団	理事長	梶野 康行	東京都	地域住民の自由な意見を募集して、どのような河川像が我がまちの水辺の未来にふさわしいのか、水辺が現在直面している課題を踏まえて今住民・行政は実現に向かって何をしなければならないのか、また未来の水辺と住民のかかわり方はどうあるべきか等々、将来の夢を表現してもらおう。各地方募金委員会を経由して市町村にポスター、パンフレットを配布し、論文を募集する。
63-3-5)-2	1	3151	水力資源の有効活用に関するビデオ作製による啓蒙活動	財団法人新エネルギー財団		橋本 利一	東京都	これからの水力資源の利用について、ビデオによるPR映画を作成し、それを地方公共団体や小中学校などに配布することにより、水力資源の有効活用の啓蒙を図る。有効活用が図られている河川を対象に、源流から河口までの間でどのように水力資源が使用されているのかの実態を撮影し、わかりやすく編集の上、ビデオ映画を作成する。
63-3-5)-1	1	3181	河川整備基金の広報・啓蒙資材の作成	財団法人河川環境管理財団	理事長	梶野 康行	東京都	広報・啓蒙資材を作成・配布することにより、河川整備基金の活動状況について紹介し、基金への理解を深めてもらい、さらなる支援を得る。ポスター、パンフレット等を作成し、配布する。